



各部落から炊事班として30名以上が集まりました



さすがに手つきは慣れたものでした

岩村は大丈夫、と思わない、想定外だった

親、友を奪われ又、犠牲者の方々の無念な思いは計り知れませんが、ややもすると過ぎ去ったことは忘れてしまいがちな「人の性」を「油断するな」と、今は亡き方々が至心に訴えてくる気配を感じます。

たたくさんの人がおいでたので、お手伝いは少ししかできず、ほとんどおしゃべりに費やしましたが、地域の方々と避難場所や避難経路など色々話す機会が持て、ある意味有意義な時間が過ごせたように思います。

近いうちに必ず起こるといわれている南海大地震。実際に起こっても臨機応変に対応できるように、日頃から防災意識を高め、地域とのつながりを大切にしていきたいと思いました。

蔵福寺島 大島 末子  
 昨年10月30日岩村地区の防災の炊き出しに参加しました。

もう45年ぶりになるだろうか……かまどでご飯を炊きました。小雨の中、小さな屋根の下で各地区から持ってきた3つのかまどに3升2升2升と並べて薪を使ってご飯を炊きました。大変くすりましたが各地区の男性が薪を上手に燃やしてくれました。昔の人は、初めチヨロチヨロ中パツパツと云いました

が、初めからパツパツで最後の仕上げの火加減が大変でしたが3つとも余り焦げつきもなく、艶のある大変美味なご飯が出来ました。地区の女性の方がおにぎりしてくれ、ご飯を炊いたかまどで豚汁を作り、たくあんを添えて大変おいしく頂き楽しい半日でした。でもやっぱりこんな本番は永久に無い事を願

たいと思います。  
 堀ノ内 大町 秀子  
 未曾有の東日本の災害は、日本列島を大きく揺るがしました。やがて、必ず来るといいう南海地震に思いを向けながら今回の訓練で、何かを会得しなければと心は走りました。

### 岩村は大丈夫と思わないで

たとは言わせない、自分の身は自分で守る「てんでこ」の勇氣を見習いたい。そして、この訓練を必要とされた時、「いざ鎌倉」と進んでお役に立たせて頂きたい。

福船 甲藤 浩

今回自主防災避難訓練の炊き出しのお手伝いをさせてもらいました。炊き出しは、大変楽しく和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、いつの間にかおいしい豚汁とおにぎりが仕上がりに避難してきた方々に配ることが出来ました。